試験研究，受託事業
（日本周辺高度回遊性国際魚類資源調査）

加藤美奈子*

マグロ・カジキ類は，沖縄県の漁船漁業において水揚げ量・額とともに最も多く，本県の水産業における最重要魚類となっている．一方で，高度回遊性魚類であるマグロ類・カジキ類の資源管理は県単独では対応が不可能で，国際的な取り組みが必要である．これを進めるために，わが国では独立行政法人水産総合研究センターがその取り組みの中核となり，関係する道府県の水産研究機関や大学等と共同事業体（JV）を組み，水産庁から事業委託を受けている（表 1）．

本事業では，広域回遊性を示すマグロ・カジキ類の国際的な資源管理に対応するため，JV に参画している各機関が，役割分担をして調査・研究を行っている．特に資源管理の必要性が高いとされている太平洋クロマグロ（以下，クロマグロ）については，本県の周辺海域が主要な産卵海域とされており（図 1），ここから得られる各種の情報は本種の資源管理上，極めて重要といえる．そこで本県では，①クロマグロ産卵時期に相当する 4～7 月に県水産公社（糸満新港）で水揚げされる同種の生物学的調査（尾叉長，体重，性別）および漁獲情報調査（漁場位置，漁法，水温，漁船名等）と②水産海洋技術センター漁獲統計システムをもとに集計した漁獲情報（漁船名，漁法，漁獲量等）の取りまとめを担当している．

本調査結果の詳細については，「平成 26 年度日本周辺高度回遊性国際魚類資源調査委託事業報告会」において報告を行っている．またその内容については，「平成 26 年度水揚地でのまぐろ・かじき調査結果」（国立研究開発法人水産研究・教育機構刊）に掲載されているので，詳細についてはこれを参照されたい．

表 1　参画機関一覧表

No.	機関名
1	(地独)北海道立総合研究機構水産研究本部中央水産試験場
2	(地独)北海道立総合研究機構水産研究本部函館水産試験場
3	(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所
4	岩手県水産技術センター
5	宮城県水産技術総合センター
6	福島県水産試験場
7	千葉県水産総合研究センター
8	神奈川県水産技術センター
9	新潟県水産海洋研究所
10	富山県農林水産総合技術センター水産研究所
11	石川県水産総合センター
12	静岡県水産技術研究所
13	三重県水産研究所
14	和歌山県水産試験場
15	和歌山県農林水産部　農林水産総務課
16	鳥取県水産試験場
17	島根県水産技術センター
18	山口県水産研究センター
19	愛媛県農林水産研究所水産研究センター
20	高知県水産試験場
21	長崎県総合水産試験場
22	宮崎県水産試験場
23	鹿児島県水産技術開発センター
24	沖縄県水産海洋技術センター
25	東京農業大学
26	日本エヌ・ユー・エス(株)
27	独立行政法人 水産総合センター本部
28	独立行政法人 水産総合センター 国際水産資源研究所
29	独立行政法人 水産総合センター 西海区水産研究所
30	独立行政法人 水産総合研究センター 中央水産研究所
31	独立行政法人 水産総合センター 日本海区水産研究所

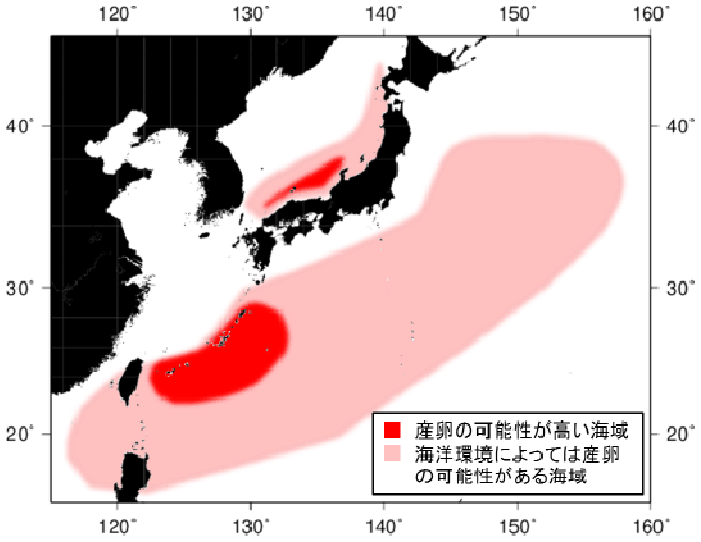

図 1　クロマグロの産卵場

国立研究開発法人水産研究・教育機構

国際水産資源研究所ホームページより引

http://kokushi.fra.go.jp/H26/H26_04.html

*E-mail : katoumnk@pref.okinawa.lg.jp　，本所